特例による学士の学位授与と審査
（学位申請説明会）

電子情報通信工学専攻科関連情報のページ
https://www.kagawa-nct.ac.jp/EIC/R07_senkou.html

以下の HP も良く見ておいてください。

学位授与機構特例認定関係のページ
https://www.niad.ac.jp/n_gakui/other/enkatsu/

特例による学位授与申請システムログインページ
https://gakui-sinsei2.niad.ac.jp/index2.html

資料一覧：

(1)学生便覧（令和 6 年度（2024））P14,15	１／１１
(2)学位授与申請方法案内（令和 7 年度版）抜粋	３／１１
完全版は電子情報通信工学専攻科関連情報のページにあります。	
(3)学位授与申請書（令和 7 年度 10 月期）記入例	５／１１
(4)履修計画書記入例	６／１１
(5)成果の要旨記入例	８／１１
(6)R7 学位授与申請スケジュール	１１／１１

別配布：（２年生）
学位授与申請システムログイン ID・パスワード
学位審査手数料払込用紙
修得単位証明書（本科・専攻科）

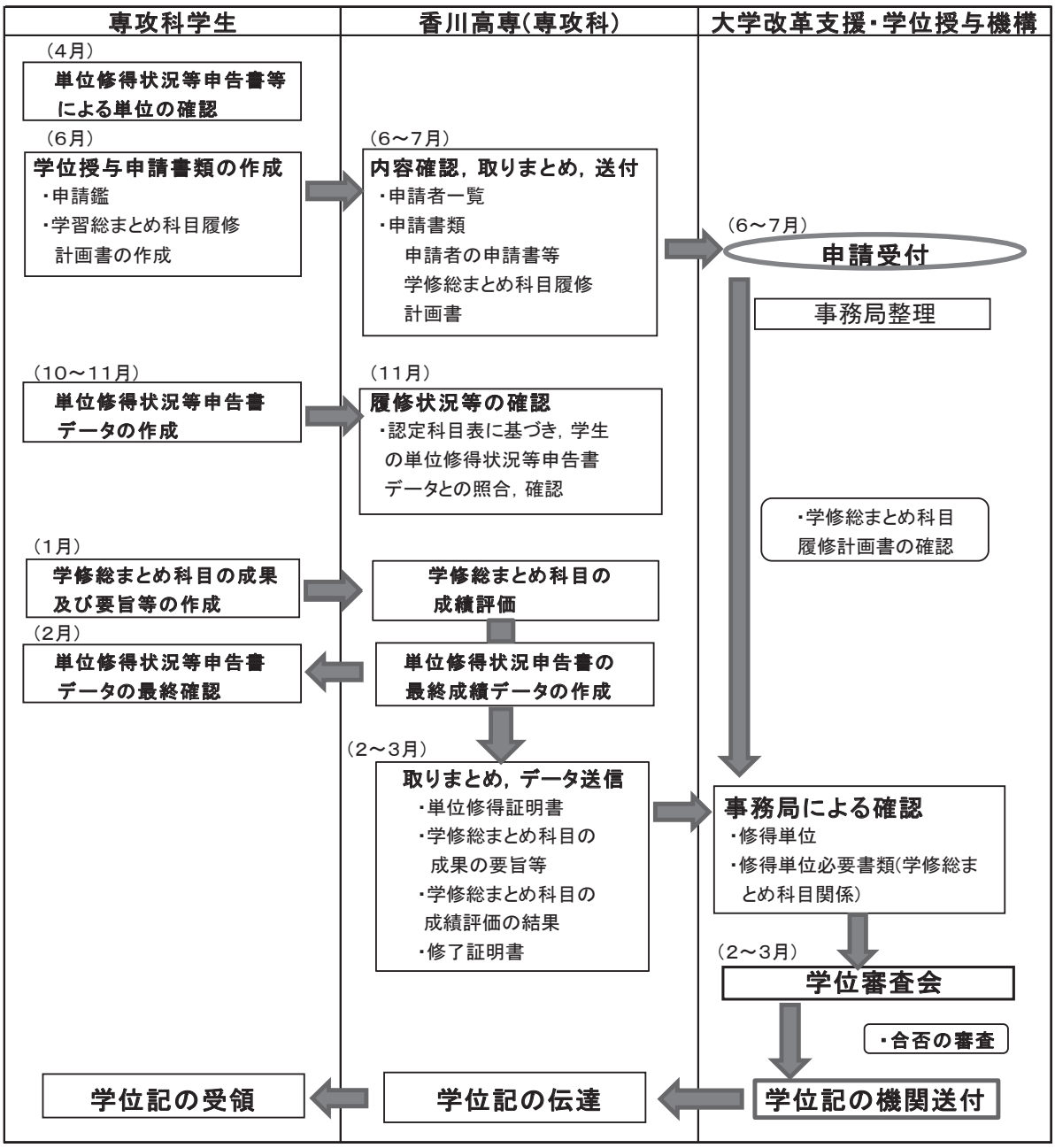
Ⅳ．独立行政法人大学改革支援・学位授与機構関係

１．独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構(以下，大学改革支援・学位授与機構)は，国立学校設置法に基づき設置された国の機関であり，学校教育法第 104 条第 4 項の規定による学位の授与を行うことにより，高等教育の段階における多様な学習の成果が適切に評価される社会の実現を図り，もって我が国の高等教育の発展に資することを目的としています。

２．学位授与申請

本専攻は，専攻科修了見込み者に対する学士の学位授与の新たな審査方式に対応するため専攻科の特例の適用認定の申請を行い，特例適用専攻科として適用認定されました。本審査方式は，平成 27 年度修了見込み者から適用されています。学士（工学）の学位取得までの流れは以下のようになっています。（令和 6 年度改定）



同機構における，修得単位の区分は次のようになります。

基本基準：専攻科での修得単位数は 62 単位以上必要です。
専攻区分：本校の専攻科では「電気電子工学」，あるいは「情報工学」です。
各専攻区分に係わる「専門科目」，「関連科目」，「学修総まとめ科目」及びそれ以外の「専攻外科目」に整理して申請しなければなりません。
「専門科目」とは，専攻区分の中心的科目及び特に関係の深い科目です。
「関連科目」とは，専攻区分の基礎となる科目及び周辺分野の科目です。
「学修総まとめ科目」とは，「特別研究Ⅱ」を指し，専攻分野を通じて培うことが求められる能力並びに専攻に係る学修及び探求の成果を評価するもので，学習を総括することを目的とした科目である。
「専攻外科目」とは，「専門科目」及び「関連科目」以外の科目です。
第 5 章履修要覧に各専攻区分における上記科目の必要単位数を分かりやすく整理しています。
これら必要単位数の条件について，単位不足とならないように，余裕を持って履修計画を立てておかなければなりません。他高専卒業生及び編入学による高専卒業生は修得単位が不足しないように特に注意してください。
修了見込み年度の 7 月に学位授与の申請を行えば，専攻科修了と同時期の 3 月には学士の学位取得が可能となります。申請を希望する学生は，大学改革支援・学位授与機構が用意する「**学位規則第 6 条第 1 項に規定する学士の学位の授与の特例に係る学位授与申請案内**」を各自で入手し，熟読の上，単位の修得に示す要件を決めてください。詳細については，学位授与申請時期に別途説明会を開催する予定です。

○インターネットを利用した電子申請の方法

大学改革支援・学位授与機構の
ホームページへアクセス

ＵＲＬ　https://www.niad.ac.jp/

↓

学位の授与→円滑な学位の審査と授与
→特例適用「学位授与電子申請
システムのご案内」ページへアクセス

ＵＲＬ　https://gakui-sinsei2.niad.ac.jp/index2.html

↓

特例による学位授与電子申請
システムにログイン

在学する特例適用専攻科に配付する申請者ＩＤとパスワードを入力してログインしてください。

◎申請時（12～１月/６～７月）

・申請者情報入力画面で基本情報を入力

↓

必要事項を該当箇所へそれぞれ
入力または選択してください。

「学修総まとめ科目履修計画書」を
作成・アップロード

様式をダウンロードして作成してください。

※　各申請者が入力した情報については，特例適用専攻科担当者が入力内容を確認し，データを送信します。

◎修了確定時（８～９月/２～３月）

・「学修総まとめ科目　成果の要旨」等を作成・アップロード
・様式により，単位の修得状況を記載・提出

成果の要旨等に係る様式をダウンロードして作成してください。
単位の修得状況に係る様式は別途特例適用専攻科ご担当者より配付されますのでそちらを使用してください。

※　各申請者が入力した情報については，特例適用専攻科担当者が入力内容を確認し，データを送信します。

申請に必要な情報や書類等

申請に必要な情報や書類等			申請者	特例適用専攻科の担当者
☆申請受付時				
①	申請者基本情報	入　力	○	—
		送　信	—	○
②	学位授与申請書		△	○
③	学位審査手数料受付証明書		△	○
④	短期大学・高等専門学校の卒業証明書		＊1	○
⑤	「学修総まとめ科目履修計画書」	入　力	○	—
		送　信	—	○
⑥	認定科目表に掲げる授業科目を履修したものとみなす証明書		—	＊3
☆修了確定時				
⑦	「学修総まとめ科目成果の要旨」等	入　力	○	—
		送　信	—	○
⑧	学（校）長名により各申請者の特例適用専攻科の修了確定を証明する書類		—	○
⑨	学（校）長の発行する単位修得証明書及び単位修得状況等申告書		＊2	＊2
⑩	学修総まとめ科目の成績評価の結果	入　力	—	○
		送　信	—	○

※　「○」は申請者または特例適用専攻科の担当者が担当する分。
「△」は申請者各自が作成・入手した書類を専攻科へ提出する分。
「入力」とは，電子申請システムへ入力（またはファイルをアップロード）すること。
「送信」とは，電子申請システムへ入力されている内容を確認の上，特例適用専攻科の担当者が，データを最終登録すること。

＊1　在学する特例適用専攻科を置く短期大学・高等専門学校と異なる短期大学・高等専門学校の卒業者は，申請者本人が出身校に証明書の発行を依頼し，取り寄せる必要があります。具体的な手続きは在学する特例適用専攻科の担当者等の指示にしたがってください。

＊2　単位の修得状況の申告に使用するExcelファイルは別途専攻科を通じて配布します。作業方法，提出等は在学する特例適用専攻科の担当者等の指示にしたがってください。

＊3　申請者が大学において履修した授業科目や異なる認定科目表に記載された授業科目の単位を学位授与申請において申告する単位に含める場合には，申請者ごとに作成・提出が必要です。なお，必ず事前に専攻科から機構に内容の確認を依頼してください。また，申請時に読替前の単位に係る単位修得証明書を併せて提出してください。

特　例　用

※　整理番号	何も記入しないでください。

※　機構担当者記載用

学位授与申請書（令和７年度　10　月期）

独立行政法人　大学改革支援・学位授与機構長　殿

申請者氏名
（自筆）　自筆で楷書で丁寧に記入

※学位記及び学位授与証明書には電子申請システム上で登録された氏名が記載されます。ただし、こちらの欄で赤色の〇を付した文字があればその文字にて記載します。丁寧に記載してください。

学位規則第６条第１項に規定する学士の学位の授与に係る特例に関する規則第４条の規定により、関係書類を添え、学士の学位の授与を申請します。
この申請書及び電子申請システムを通じて入力した記載内容は事実と相違ありません。

学　校　名	香川高等専門学校
専攻科（専攻）名	電子情報通信工学専攻

専攻分野の名称	工学
専 攻 の 区 分	

電気電子工学 or
情報工学

申請者ＩＤ	申請者ID　7桁数字部分

学位審査手数料受付証明書貼付欄
申請には、学位審査手数料受付証明書の貼付が必要です。 各特例適用専攻科に配布した、特例による学位授与申請専用の払込用紙で、学位審査手数料を払い込み、その証明書を貼付してください。 ※払込みの際は必ず金融機関の窓口で行い、ＡＴＭは利用しないでください。

・各欄の大きさは適宜変更してもよいが，全体で２ページを超えることはできない。
・全体の字数は2,400～3,000 字程度
・提出に当たっては，内容を十分に指導教員に確認してもらうこと。

様式（１a） 学修総まとめ科目履修計画書 （※２頁以内） **(4) 履修計画書記入例**

学校名	香川高等専門学校	専攻名	電子情報通信工学専攻
専攻分野名称	工学	専攻の区分	電気電子工学または情報工学
氏 名		学籍番号	24599（a は不要）
テーマ名	指導教員の個表の課題名を踏まえたテーマ名		
指導教員名	すべての教員名、主教員に〇印	指導補助教員名	すべての指導補助教員名

(1)「学修総まとめ科目」で取り組むテーマの着想に至った背景

〇 以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

学修総まとめ科目で取り組むテーマの着想に至った経緯を具体的に説明してください。また，当該テーマに関連する文献や資料等（既往の研究や先行研究など）について概観し，当該テーマの意義や背景を説明してください。引用した文献や資料は出現順に文献番号を振り，「参考文献」にまとめて文献番号とともに記載して，その出典を必ず明示してください。以下の(2)～(4)においても連続した文献番号を振り，同様に記載してください。

なお，複数の者が共同して同一又はほぼ同一のテーマの学修・探究を進める場合には，その理由と申請者の担当部分について自身の言葉で具体的に記述してください。

(2) 学修・探究の目的

〇 以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「(1)「学修総まとめ科目」で取り組むテーマの着想に至った背景」の記載内容を踏まえて，学修総まとめ科目で取り組むテーマの目的を具体的に記述し，その意義を説明してください。

(3) 学修・探究の方法と計画

○　以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「(2)学修・探究の目的」をどのような手法・手段を用いて達成するのかを説明してください。手法・手段を具体的に記述し，使用する材料，資料，あるいは調査対象などについて記述してください。必要に応じて装置図や手順を説明する流れ図等を用いても構いません。

次に，学修・探究の実施内容について説明し，どの時点でどこまで実施するのか，大まかなスケジュールを記述してください。

なお，学位授与申請の時点で学修総まとめ科目の履修が一定程度進んでいる場合は，申請時点での状況に基づいて記述し，かつ履修終了時までに何を達成するかを記載してください。

倫理的配慮

○　以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

調査や実験を行う上で必要な倫理的配慮（補足資料[1]「履修計画書と成果の要旨等を作成する際に留意すべき倫理的配慮」参照）について，その内容を具体的に明記するとともに，実施にあたって学内外の倫理審査委員会等に申請している場合には，その申請状況等について記載してください。該当がない場合にはその旨（「該当なし」など）を記載してください。　（参照P25→補足資料P48）

(4)期待される成果

○　以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

学修総まとめ科目で取り組むテーマの学修・探究によって，得られると期待される結果・成果を記載してください。また，実施にあたり予想される困難・障害があれば説明し，目的達成の見通しを記載してください。

参考文献

○　以下の記載内容を十分に確認し，履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

(1)～(4)で引用した文献について，出現順に番号を付してまとめて記載してください。

[1]『学位規則第６条第１項に規定する学士の学位の授与の特例に係る学位授与申請案内（令和７年度版）』（独）大学改革支援・学位授与機構（令和６年10月），p. 48
https://www.niad.ac.jp/n_gakui/media-download/8192/c8317ffa27f00332/

・各欄の大きさは適宜変更してもよいが，全体で３ページを超えることはできない。
・全体の字数は3,600～4,500 字程度
・図，表を挿入した場合はキャプションを付す
・提出に当たっては，内容を十分に指導教員に確認してもらうこと。

様式（２a） 学修総まとめ科目 成果の要旨 （※３頁以内） **(5) 成果の要旨記入例**

学校名	香川高等専門学校	専攻名	電子情報通信工学専攻
専攻分野名称	工学	専攻の区分	電気電子工学または情報工学
氏 名		学籍番号	24599（a は不要）
テーマ名	指導教員の個表の課題名を踏まえたテーマ名		
指導教員名	すべての教員名、主教員に〇印	指導補助教員名	すべての指導補助教員名

（１） 「学修総まとめ科目」で取り組んだ学修・探究の内容

（1-1）学修・探究の背景と目的

〇 以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

この学修・探究で取り組んだテーマの背景について記述してください。当該テーマに関係する文献や資料等（既往の研究や先行研究など）を引用しつつ概略を説明してください。引用した文献や資料は出現順に文献番号を振り，「参考文献」にまとめて文献番号とともに記載して，その出典を必ず明示してください。なお(1-2)～(1-3)においても連続した文献番号を振り，同様に記載してください。

次に，この学修・探究で取り組んだテーマの目的と意義を具体的に記述してください。

複数の者が共同して同一又はほぼ同一のテーマの学修・探究を進めた場合には，その理由と自身の担当について自身の言葉で具体的に記述してください。

（1-2）学修・探究の手法・方法

〇 以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

この学修・探究で用いた手法・手段を具体的に記述してください。実験を行った場合は用いた実験装置の主な仕様を記し，測定方法，実験条件，用いた試料，データ解析の方法などを説明してください。シミュレーションや数値計算を行った場合は用いたソフトウエアの概略を記し，計算方法，計算条件，解析方法，用いたアルゴリズムなどを説明してください。調査研究の場合には調査の方法，対象などを具体的に説明してください。

倫理的配慮

〇 以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

調査や実験を行う上で必要な倫理的配慮（補足資料[1]「履修計画書と成果の要旨等を作成する際に留意すべき倫理的配慮」参照）について，その内容を具体的に明記するとともに，実施にあたって学内外の倫理審査委員会等に申請した場合には，その承認状況等について記載してください。 該当がない場合にはその旨（「該当なし」など）を記載してください。 （参照P25→補足資料P48）

（1-3）得られた結果と考察，将来展望

○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

得られた結果の概要を説明し，その結果に対する考察を行い，これらに基づいて学修・探究の結論をまとめてください。また，この学修・探究では解決できなかった事項があればそれに対する解決策を考察してください。学修総まとめ科目で取り組んだテーマに関する将来展望についても記述してください。

履修計画書から変更があった場合の理由および履修計画書に対する評価・コメントへの対応

○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「学修総まとめ科目履修計画書」に記載した計画・内容から大幅な変更があった場合には，その理由，解決策等を記載してください。また，学修・探究の進捗に応じて「学修総まとめ科目履修計画書」に記載したテーマ名に修正が生じた場合は，修正した旨とその理由を記述してください。履修計画書を再提出した場合やコメントが付された場合には，その対応についても記載してください。

参考文献

○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

(1-1)～(1-3)で引用した文献について，出現順に番号を付してまとめて記載してください。

[1]『学位規則第６条第１項に規定する学士の学位の授与の特例に係る学位授与申請案内（令和７年度版）』（独）大学改革支援・学位授与機構（令和６年10月），p. 48
https://www.niad.ac.jp/n_gakui/media-download/8192/c8317ffa27f00332/

（２）　「学修総まとめ科目」の学修・探究を支える学修全体について

(2-1) テーマの学修・探究の基盤となる専門科目の学修

○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

４年間（短期大学または高等専門学校の学科＋専攻科）の学修を振り返り，履修した「専門的な内容の授業科目」（専門科目）の概要と身につけた力について具体的に記述し，「学修総まとめ科目」で取り組んだテーマと，「専門科目」の学修との関連を説明してください。特にテーマの学修・探究を進める上で基礎となった専門科目，あるいは関係の深い専門科目については，具体的な授業科目名も記載してください。

(2-2) テーマの学修・探究に関係する関連科目の学修
○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。 履修した「専門に関連する授業科目」（関連科目）の全体の概要と身につけた力について記述し，それらの授業科目で学んだ内容と当該テーマとの関連を説明してください。特にテーマの学修・探究と関係の深い関連科目については，具体的な授業科目名も記載してください。
(2-3) 専攻に係る科目以外の学修
○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。 専攻に係る科目以外でどのような授業科目を履修したか概要を述べ，特に興味を持った授業科目，および有益であったと考える授業科目について，具体的な授業科目名を記載して内容の概略を説明してください。
(2-4) 自分自身の４年間の学修全体の省察
○　以下の記載内容を十分に確認し，成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。 これまでの４年間の学修を通じて，どのような知識を学んだか，またどのような能力が得られたかを説明してください。

令和7年度　学位授与申請スケジュール

申請時	4月 7日（月）	学位申請説明会
		学生課専攻科担当から「専用振込用紙」と「申請者ID」を受領
	6月 3日（火）	学修総まとめ科目計画書提出
	6月 3日～12日	学位審査手数料専用振込用紙により32,000円を郵便局にて振り込む。
	6月12日（木）まで	学生課専攻科担当に「学位授与申請書」を提出
	6月17日（火）	学位申請システム一斉入力
		基本情報、学修総まとめ科目履修計画書
	7月4日（金）	学生課から学位授与機構に全員分のデータ送信
	9月29日（月）	特別研究Ⅱタイトル・予稿締切
	10月3日（金）	特別研究Ⅱ中間発表会
	11月中旬(未定)	単位修得状況申告書データ提出
修了確定時	1月9日（金）	特別研究Ⅱ論文提出
	1月9日（金）	特別研究Ⅱタイトル・予稿締切（指導教員確認済みであること）
	1月16日（金）	特別研究Ⅱ発表会
	1月28日（水）	「学修総まとめ科目成果の要旨」締切
	2月12日（木）	「学修総まとめ科目成果の要旨」一斉入力
	2月17日（火）	学生による「学修総まとめ科目成果の要旨」修正期限
	2月20日（金）	単位修得状況申告書データ最終確認提出
	2月25日（水）	学生課専攻科担当が学位授与機構に全員分のデータ送信（期限）修了式の15営業日前の前日
		学生課専攻科担当が専攻科の修了証明書及び単位修得証明書提出（期限）15営業日前必着